
資料 1

熱中症環境保健マニュアルの改訂について

改訂の進め方

これまでの改訂経緯、前回策定後に生じた変化、国民の方々から寄せられた意見等を踏まえて、今回の改訂では、以下の基本的な方針のとおり進めていくこととしたい。

基本的な方針

- 現在のマニュアルには、熱中症対策に係る有用な情報が多く含まれている。このため、基本的には、現在の記載をなるべく活かす形で改訂を進める。
- 新しいマニュアルの対象となる読み手は、現在と同様に、全ての方（一般の方々、自治体職員、教育機関職員、スポーツ活動の指導者、イベント主催者、保護者等を含むもの）を想定して作成する。

具体的な進め方

- ① 気候変動適応法改正関連の記載を追記する。
- ② 気象状況等の情報を更新する。
- ③ 記載の重複を見直す等、現在のマニュアル全体の分量を可能な範囲で減らす。
- ④ 専門用語や難解な用語は、注釈等でわかりやすい表現を心がける。
- ⑤ 「どのような読み手向けの内容か」分かるように、目次や章のタイトルを工夫する（例：読み手を示すマークを付ける）。

第1回WGで頂いた主な御意見①

＜読み手＞

- ・全体向けに書きすぎるとページ数が増え、読み手の対象がずれてしまうという印象があるため、しっかり読み手を絞られた方がよい。（楠本委員）
- ・当事者自身か、他者に熱中症対策を促すものか、どちらかに絞ったほうがよい。（三宅委員）

＜マニュアルの全体構成＞

- ・一番皆さんに読んでほしい情報というのは、あまり分量の多くないダイジェスト版のような形にしていきたい。（齊藤委員）
- ・それぞれの対象者に向けて情報をパッケージにして出していくことに賛成である。（横堀委員）
- ・簡潔で分かりやすい言葉で標準的な内容をまとめた短いマニュアルを作成し、その上で保健指導に関わる方々や高齢者、子ども、スポーツ指導者向けの別冊を作成することを提案する。（戸田委員）

＜総論と各論の接続＞

- ・ホームページ上に掲載するのであれば、一般用あるいは専門家用に矢印で導くような、ガイドをつくと分かりやすい。（濱口委員）
- ・対象別の分冊を作ったうえで、リンクやQRコードのような形でその場所に飛ぶようディレクトリのような形で機能するダイジェスト版が必要ではないか。（齊藤委員）

第1回WGで頂いた主な御意見②

＜読みやすさを高める工夫＞

- ・イラストやピクトグラム等の図を中心にして、文字数を抑えることで、一般に受け入れやすくなる。
また、イラストや図表をホームページ上から切り取って使えるようになると、指導者が資料として引用しやすくなるのではないか。（堀江委員）

＜補足啓発資材の必要性＞

- ・小さなパンフレットやポンチ絵にまとめて掲載したり、別紙や付録にしたりするなど、何か工夫が必要である。（戸田委員）

1. はじめに

「熱中症は多数発生している」ことや、「熱中症は予防できる」ことなどについて言及しています。

2. 熱中症の基本的な知識

1. 熱中症は、どのようにして起こるのか
2. 熱中症の症状
3. 日本の夏の暑さ、熱中症の発生状況
4. 熱中症になりやすい人
5. 熱中症になりやすい【状況・シーン】
6. 暑さ指数

全ての「読み手」にとって必要な基本的な知識にしぼって記載しており、各論でそれぞれ具体的に記載することになっています。

3. 熱中症の予防

1. 自身で行う熱中症予防
 - 【暑くなる前】に行う熱中症予防
 - 【暑い時期】に行う熱中症予防
 - （1）暑い場所を避ける
 - （2）体を冷やす
 - （3）こまめに水分・塩分補給を行う
2. 地方公共団体や事業者等が行う熱中症予防の呼びかけ

- ・「読み手」として、“自分自身”と“地方公共団体等”で分けています。
- ・「予防を行う時期」として【暑くなる前】と【暑い時期】に分けています。
- ・【暑い時期】の予防法を（1）～（3）に分けて簡潔にしています。

4. 熱中症になった時(応急処置)

1. あなたが熱中症になった時
2. 周囲の人が熱中症になった時

熱中症になった時の応急処置も、上述の予防法（1）～（3）と同じような内容とした上で、症状次第で「救急車を呼ぶ」ことを示しています。

総論についてご議論いただきたいこと

1. 総論全体

熱中症予防・熱中症対策として、「全ての読み手」にとって基本的事項や必須事項を記載しているか。（過不足ないか）

2. 文面

- 1) 中心的メッセージの内容（「はじめに」へ記載予定）
- 2) 使用用語の難易度、説明文の過不足（総論は、全ての人が読むことを想定）
- 3) 総論に含めるべき図やデータ
- 4) 掲載するイラスト等の観点で注意すべき点

3. その他の御助言等

※ 今回お示しするものは、あくまで現時点版の「文章・文字のみ」のものとなります。実際のマニュアルを策定する際には、カラーやイラスト、グラフなども入れて作成する予定です。

各論の構成（案）

例：😊 子どもサッカークラブのコーチ

😞 介護事業者

各論 1 熱中症の基礎知識

- 1.熱中症はどのようにして起こるのか
- 2.熱中症にはどのような症状があるのか
- 3.最近の日本の暑さの状況
- 4.熱中症はどれくらい起こっているのか
- 5.暑さ指数の活用＜熱中症の予防＞

各論 2 自分自身で行う熱中症予防

- 1.暑くなる前に行う熱中症予防
- 2.暑い時期に行う熱中症予防

各論 3 熱中症対策を促す者が行う熱中症予防

- 1.市町村等が行う予防の呼びかけ
- 😊 2.イベント主催者等が行うイベント参加者への予防の呼びかけ

各論 4 熱中症になった時には

- 1.自身が熱中症になった時
- 2.周囲の人が熱中症になった時

😞 各論 5 熱中症になりやすい人：高齢者の注意事項

- 1.高齢者の特徴
- 2.高齢者の熱中症対策の注意点

😊 各論 6 熱中症になりやすい人：子どもの注意事項

- 1.子どもの特徴
- 2.子どもの熱中症対策の注意点

😞😊 各論 7 その他の熱中症になりやすい人の注意事項

- 1.肥満の人の特徴・注意事項
- 2.持病のある人の特徴・注意事項
- 3.障がいのある人の特徴・注意事項

😊 各論 8 運動・スポーツ活動時

- 1.運動・スポーツ活動時の特徴
- 2.運動・スポーツ活動時の対策

😊 各論 9 夏季イベント時

- 1.夏季イベント時の特徴
- 2.夏季イベント時の対策

各論10 労働環境

- 1.職場における熱中症の特徴
- 2.職場における熱中症の対策

😞 各論11 自然災害時

- 1.自然災害時の特徴
- 2.自然災害時の対策

各論12 熱中症に関する政府の取組

各論の構成①（案）

改定案	現行（2022年版）
・ 各論 1 は、現行マニュアルの「Ⅰ 熱中症とは何か」、「Ⅱ 熱中症になったときには」等の内容をまとめています。 ・ 以後の各論 1.～4.では、各論の中でも全般的な内容について示しています。 各論 1 熱中症の基礎知識 1.熱中症はどのようにして起こるのか 2.熱中症にはどんな症状があるのか 3.最近の日本の暑さの状況 4.熱中症はどれくらい起こっているのか 5.暑さ指数の活用	I. 熱中症とは何か 1.熱中症とは何か 2.熱中症はどのようにして起こるのか 3.熱中症はどれくらい起こっているのか 4.熱中症と気象条件 5.日本の暑熱環境 6.暑さ指数(WBGT):熱中症予防のための指標 II. 熱中症になったときには 1.どんな症状があるのか 2.どういうときに熱中症を疑うか

各論の構成②（案）

改定案	現行（2022年版）
・各論2及び3は、熱中症の予防について示します。「読み手」として、“自分自身”と“熱中症対策を促す者”に分けています ・さらに各論2については、日常生活での注意事項の内容を包含の上、【タイミング】として“暑くなる前”と“暑い時期”に分けています 各論2 自分自身で行う熱中症予防 1.暑くなる前に行う熱中症予防 2.暑い時期に行う熱中症予防 各論3 熱中症対策を促す者が行う熱中症予防 1.市町村等が行う予防の呼びかけ 2.イベント主催者等が行うイベント参加者への予防の呼びかけ ・各論3は、「読み手」として、「熱中症対策を促す者」をさらに“市町村等”と“イベント主催者等”で分けています。 ・内容は、現行IV「熱中症に関する保健指導」を中心に示します。	現行Ⅲ-2～7は各論8～11へ移動 （現行Ⅲ-4は、一部各論3に含まれます） III.熱中症を防ぐためには 1.日常生活での注意事項 2.高齢者と子どもの注意事項 3.運動・スポーツ活動時の注意事項 4.夏季イベントにおける熱中症対策 5.労働環境での注意事項 6.自然災害時の注意事項 7.「新しい生活様式」での注意事項 IV. 熱中症に関する保健指導 1.保健指導のあり方 2.保健指導のポイント 3.夏季のイベントにおける保健指導 現行Ⅲ-7「「新しい生活様式」での注意事項」は、各論2に一部内容が含まれますが、項としては削除します。

各論の構成③（案）

改定案	現行（2022年版）
<u>各論 1 熱中症の基礎知識</u> 1.熱中症はどのようにして起こるのか 2.熱中症にはどんな症状があるのか 3.最近の日本の暑さの状況 4.熱中症はどれくらい起きているのか 5.暑さ指数の活用	II. 熱中症になったときには 1.どんな症状があるのか 2.どういうときに熱中症を疑うか 3.熱中症を疑ったときには何をすべきか 4.医療機関に搬送するとき 該当する項目を各論 1 へ移動
<u>各論 2 自分自身で行う熱中症予防</u> 1.暑くなる前に行う熱中症予防 2.暑い時期に行う熱中症予防	・各論 1 に基礎知識、各論 2 及び 3 に熱中症予防、各論 4 に熱中症になった時の対応法を示すことで、予防から対策の流れが理解しやすいようにしました。
<u>各論 3 熱中症対策を促す者が行う熱中症予防</u> 1.市町村等が行う予防の呼びかけ 2.イベント主催者等が行うイベント参加者への予防の呼びかけ	・各論 4 は読み手として、“自分自身”と“熱中症対策を促す者”で分けました。 ・応急処置や医療機関へ搬送するタイミング等、総論の詳細情報を記載します。
<u>各論 4 熱中症になった時には</u> 1.自身が熱中症になった時 2.周囲の人が熱中症になった時	

各論の構成④（案）

改定案	現行（2022年版）
各論 5 熱中症になりやすい人：高齢者の 注意事項 1. 高齢者の特徴 2. 高齢者の熱中症対策の注意点 各論 6 熱中症になりやすい人：子どもの 注意事項 1. 子どもの特徴 2. 子どもの熱中症対策の注意点 各論 7 その他の熱中症になりやすい人の 注意事項 1. 肥満の人の特徴 2. 持病のある人の特徴 3. 障がいのある人の特徴 現行マニュアルから肥満の人、持病のある人、障がいのある人について記載された内容を抽出。	III. 熱中症を防ぐためには 1. 日常生活での注意事項 2. 高齢者と子どもの注意事項 3. 運動・スポーツ活動時の注意事項 4. 夏季イベントにおける熱中症対策 5. 労働環境での注意事項 6. 自然災害時の注意事項 7. 新しい生活様式」での注意事項 ・ 各論 5～7に熱中症になりやすい人についての内容をまとめました。

各論の構成⑤（案）

改定案	現行（2022年版）
各論 8 運動・スポーツ活動時 1.運動・スポーツ活動時の特徴 2.運動・スポーツ活動時の対策 各論 9 夏季イベント時 1.夏季イベント時の特徴 2.夏季イベント時の対策 各論10 労働環境 1.職場における熱中症の特徴 2.職場における熱中症の対策 各論11 自然災害時 1.自然災害時の特徴 2.自然災害時の対策 ・各論 8～11は、【場面・シーン】として、“運動・スポーツ活動時”、“夏季イベント時”、“労働環境”、“自然災害時”に分けています。 ・それぞれを特徴と対策に分けることでシーン毎の特徴や対策の違いを明確にしています。	III.熱中症を防ぐためには 1.日常生活での注意事項 2.高齢者と子どもの注意事項 3.運動・スポーツ活動時の注意事項 4.夏季イベントにおける熱中症対策 5.労働環境での注意事項 6.自然災害時の注意事項 7.「新しい生活様式」での注意事項 該当する項目を各論 2， 5， 6 へ分配 現行Ⅲ-7「「新しい生活様式」での注意事項」は、各論 2 に一部内容が含まれますが、項としては削除します。

各論の構成⑥（案）

改定案	現行（2022年版）
<u>各論12 熱中症に関する政府の取組</u> 各論12は、気候変動適応法改正関連（熱中症特別警戒アラート、クーリングシェルター等）の記載を追記予定です。そのほか、政府の取組を最新情報に更新します。 資料 熱中症予防に関連する用語集（新設） 参考文献	熱中症に関する政府の取組 1.気象情報の提供、注意喚起 2.予防・対処方法の普及啓発 3.発生状況等に係る情報提供(消防庁、文部科学省、厚生労働省) 4.調査研究等の推進（環境省） 資料 参考文献

各論についてご議論いただきたいこと

1. 各論全体

- ・主に【読み手】【シーン】【タイミング】を意識し整理を行ったが、過不足がないか
- ・どのような読み手向けの内容か、分かるような工夫が十分にされているか
- ・目次構成はどのようにすべきか

(案1) P7のように、一つ一つを独立させた 12章 (+a) とする

⇔各章は分かりやすくシンプルだが、全体の章の数が多くなる

(案2) 5 / 6 / 7章を 「どのような人になりやすいか」

8 / 9 / 10 / 11章を 「どのようなシーンになりやすいか」

とまとめて、それぞれ枝番とする。

⇔章の全体構成はシンプルだが、読み手が分かりにくくなる

2. 文面

- 1) 各論ごと「特に各論5～11」の中心的メッセージの内容
- 2) 使用用語の難易度、説明文の過不足（各論は、章ごとに読み手が変わることを想定）

3. その他の御助言等